

静脈注射 I

2026.5.8, 5.11

講義

薬剤師より注射剤に関する基礎知識について、業務担当副看護部長より静脈注射に関する法的解釈や看護業務の法的位置づけについて講義がありました。また、特定行為修了者からPICCCの管理について動画での講義がありました。看護職キャリア支援教育担当副看護師長の講義では、静脈注射の基礎知識と手技について学びました。



演習

演習では、4月の技術研修から学習してきたことを意識して、丁寧な声掛けや患者説明を行っていました。

混注、点滴投与

7つのRight (7R)
を指差し確認



患者照合システム
を用いた患者確認



アンプルから薬液を混注しました。その後、キョクイファイナルチェックを行い、点滴を投与しました。

側管注・陽圧ロック



薬剤に応じて注入速度や作用・副作用を確認
注入時の疼痛の有無や穿刺部位の観察を
しながら安全にケアを実施しました

翼状針の穿刺固定、抜針



血管や神経の走行を考慮し、固定しやすく、患者さんが安楽に過ごせる穿刺部位を選定していました。

講義・演習から学んだこと

- ・ 静脈注射は薬剤の効果発現が早い一方、身体への影響が大きいため、7R確認やダブルチェックを徹底することが大切だと感じました。
- ・ 静脈注射による合併症や副作用を理解し、投与後も適切な観察と対応を行うことが重要だと学びました。